

岐阜県鉱工業指数 (平成22年1月分)

生産指数 前月比 0.1%の上昇

1 概況

平成22年1月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数でみると、化学工業、一般機械工業等が低下したものの、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は0.1%増と5カ月連続で上昇した。また、出荷指数は2.4%減と5カ月ぶりに低下し、在庫指数は1.0%増と4カ月ぶりに上昇した。

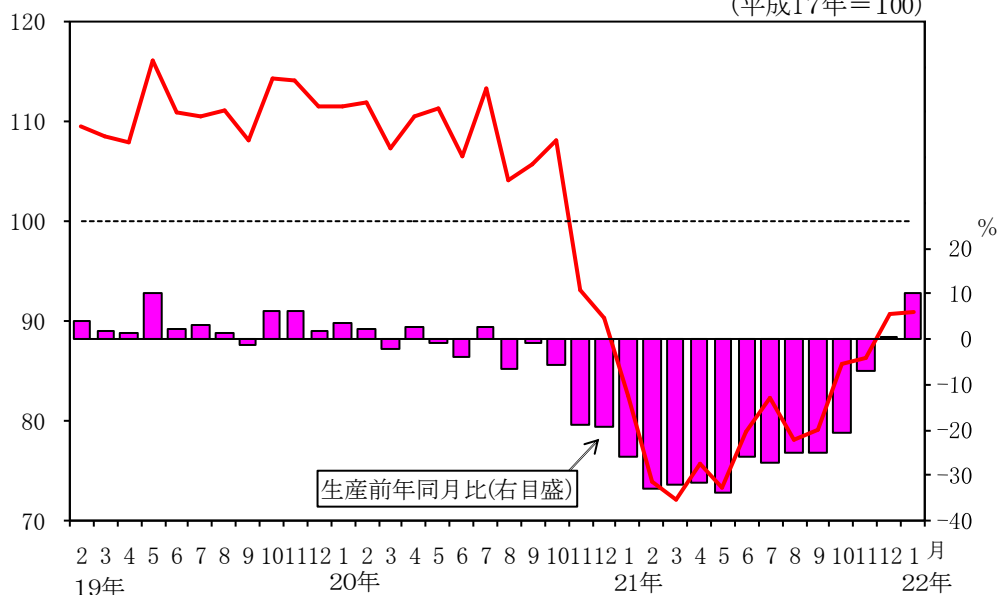
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は10.0%増となり、2カ月連続で前年を上回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	90.8	0.1	83.8	10.0
出荷	89.2	△2.4	81.9	11.1
在庫	108.9	1.0	110.6	△3.4

鉱工業指数(生産)推移

(平成17年=100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、橋りょう、スチール又はステンレスシャッター等が増加したものの、ボルト・ナット、軽金属板製品（産業用品）等が減少したため、5.0%減と低下に転じた。また、出荷は2.9%減、在庫は4.3%減と、ともに低下に転じた。

機械工業の生産は、油圧機器、超硬工具（超硬チップを除く）等が減少したものの、電子回路基板、携帯電話等が増加したため、1.5%増と8カ月連続で上昇した。また、出荷は3.8%減と4カ月ぶりに低下し、在庫は5.3%減と低下に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、ガラス製品（容器類）、陶磁器製台所用食卓用品等が減少したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、耐火れんが（不定形耐火物を除く）等が増加したため、3.9%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷も1.4%増と前月に引き続き上昇し、在庫は0.7%減と低下に転じた。

化学工業の生産は、活性炭等が増加したものの、医薬品、無水酢酸等が減少したため、6.0%減と5カ月ぶりに低下した。また、出荷も5.7%減と5カ月ぶりに低下し、在庫は9.0%増と4カ月ぶりに増加した。

プラスチック製品工業の生産は、ホース（プラスチック製）、プラスチック製フィルム等が減少したものの、プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、5.1%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷も6.6%増と3カ月連続で上昇し、在庫は1.4%減と4カ月連続で低下した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	93.1	△ 5.0	5.7	95.0	△ 2.9	10.3	73.1	△ 4.3	△ 7.3
機械工業	86.8	1.5	14.9	87.9	△ 3.8	16.6	119.9	△ 5.3	△ 20.1
一般機械工業	60.7	△ 6.2	△ 13.1	69.9	△ 6.6	△ 0.1	-	-	-
電子部品・デバイス工業	96.5	6.3	89.2	98.2	4.9	87.5	-	-	-
輸送機械工業	111.5	△ 0.8	26.1	102.5	△ 1.1	26.9	-	-	-
窯業・土石製品工業	74.4	3.9	5.2	71.3	1.4	△ 4.8	87.2	△ 0.7	△ 7.4
化学工業	126.6	△ 6.0	8.2	119.8	△ 5.7	6.1	99.6	9.0	△ 7.0
プラスチック製品工業	102.1	5.1	20.7	108.4	6.6	16.2	82.6	△ 1.4	△ 14.1

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

